

第1回 奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会 会議録		
開催日時	平成27年6月11日(木) 14時00分～16時00分	
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室	
議 題	1 開会 2 部長あいさつ 3 委員の委嘱 4 報告事項 ・奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会運営要領の改正について 5 案件 (1) 市民参画及び協働によるまちづくり推進計画について ① 平成26年度事業評価について ② 平成27年度実施計画について (2) 地域コミュニティワークショップについて (3) その他 6 閉会	
出席者	委員	伊藤 俊子 委員、澤井 勝 委員、辻中 佳奈子 委員、 中川 幾郎 委員、中川 直子 委員、中口 則弘 委員、 福尾 和子 委員、室 雅博 委員【計8人出席】 (渡邊 新一 委員は欠席)
	事務局	今西市民活動部長、松田市民活動部次長、 柴田協働推進課長、園部地域活動推進課長、 上西地域活動推進課地区調整主幹、今井協働推進課長補佐 事務局(協働推進課まちづくり推進係)
開催形態	公開(傍聴人1人、報道関係者0人)	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の委嘱を行った。委員の互選により、澤井会長、中川幾郎副会長が選出された。</li> <li>・市民参画及び協働によるまちづくり推進計画 実施計画の総合評価のあり方は、継続審議とする。</li> <li>・現在、地域自治協議会と市民提案制度に係ることを主に審議しているが、今秋行う市への提言には、地域自治協議会に関する条項のみ条例に追加することにする。市民提案制度については、引き続き審議を行うとともに要領等で制度を構築し、将来的には条例改正も視野に入れる。</li> </ul>	
担当課	市民活動部 協働推進課	
<b>議事の内容</b>		
1 開会  2 部長あいさつ  3 委員の委嘱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の委嘱を行った。(任期は平成29年3月31日まで)</li> <li>・会長は澤井勝委員、副会長は中川幾郎委員に決定した。</li> </ul> 4 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会運営要領の改正について 事務局より資料1-1、1-2をもとに説明。「奈良市審議会等の会議の公開に関する指針」の一部改正に伴い、本審議会の運営要領も改正する。</li> <li>● 主な意見は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1-2に傍聴券の様式が載っているが、裏面の注意事項の書きぶりが「…しないこと」という権力的な書き方になっている。審議会は公開であることから、もう少し柔らかい口調にしたほうが良いと思う。(室委員)</li> </ul> </li> </ul>		

- ・「スピード化を図る」ために、会議録を要点筆記の形式に変えることに対しては、個人的に少し疑問である。(澤井会長)

## 5 案件

### (1) 市民参画及び協働によるまちづくり推進計画について

#### ① 平成26年度事業評価について

事務局より資料2-1～2-4をもとに説明。平成26年度実施計画の事業97件のうち、継続が92件、廃止又は完了が5件だった。また、事業No.95「入札制度の適正化」(契約課)について、事業は継続するが実態が協働とはなっていないため計画から外したいと担当課から要望があり、平成26年度をもって計画から外すこととなった。

また、総合評価(A～Eの5段階)の基準について、現在は各担当課の自己評価によるが、今後統一した基準で総合評価を行う(例えば評価項目の平均値から、総合評価が自動的に算定されるようにする)かは検討事項とする。

- 主な意見・質問は以下の通り。
  - ・総合評価はどういった基準によるか。事業によって評価項目ごとの評価と総合評価との関連性が異なるように感じる。(福尾委員)  
⇒評価はあくまで担当課の自己評価であり、合計点数などで総合評価が決まってくるわけではない。(柴田課長)  
⇒担当課が独自の基準で評価するという現在の形でいいのではないか。大切なことは、毎年度「しっかりと」評価をすることである。No.22、No.23の事業評価について、この2事業は全てA評価が並んでおり、課題や対策もないとの記述なので、しっかりと評価が行われているか疑問である。(辻中委員)  
⇒各評価項目を点数制にすることも一つの方法である。(中川副会長)
  - ・No.49「独り暮らし高齢者世帯防火訪問」について、女性防災クラブとして消防局からの依頼があって取り組んでいるが、この件について担当課と協議したこともなく、評価がCであることについて、やっている立場としては少し納得がいかない部分がある。(伊藤委員)
  - ・No.82「奈良市きたまち転害門観光案内所運営事業」がD評価であることについて、私も少し関わっているが、地元と行政が協働して積極的に頑張っているという印象があるので、少し意外に感じた。(室委員)
  - ・No.95「入札制度の適正化」について、私も他市の入札制度の委員をいくつか務めているが、入札のルールづくりのプロセスに市民も参画することは必要であると考えているので、担当課の考えをもう少し詳しく聞かせていただきたい。入札は専門性を要するものなので、市民の参画は馴染まないという考えであるならば、入札制度を含め市民が市政について学ぶ機会を奪うことになるため、これからの時代それでは駄目だと思う。(中川副会長)

#### ② 平成27年度実施計画について

事務局より資料2-3、2-5をもとに説明。平成27年度実施計画は昨年度から継続の91件に新規事業5件を追加した計96事業で前年度比1減となった。

- 主な意見は以下の通り。
  - ・救急車の出動件数の増加にどう対処するか、またAEDを使用できる市民をいかに増やすか、以前担当課とのヒアリングの際、消防局に今後検討すべきと意見したが、この実施計画においても反映させたほうがいいと思う。(中川副会長)  
⇒消防局に確認させていただく。(今西部長)

### (2) 地域コミュニティワークショップについて

事務局より資料3、4をもとに説明。奈良市自治連合会10ブロックからそれぞれ選出された地区は資料3の通り。なお、ワークショップ当日は講師のファシリテーターとともに協働推進課以外の職員もサポーターとして参加している。

- 主な意見・質問は以下の通り。
  - ・何地区か開催してみても、担当課として現時点の感触はいかがか。(室委員)  
⇒現時点で開催したのは西大寺北地区のみだが、この地区は住民の地域活動や教育への意識が高く、予想以上に活発な話し合いがされていたと思う。(柴田課長)
  - ・今回のワークショップは、自分たちの地区を見つめ直すというところから始まっているようだが、地域自治協議会についてはふれていないのか。(辻中委員)  
⇒地域自治協議会の設立を見据えたワークショップであるので、協議会についてもふれている。(柴田課長)
  - ・ワークショップは協働推進課と奈良市自治連合会で協働して取り組んでおり、既に参加していただいている地区もあるが、地元説明には協働推進課も参加し、より丁寧な説明をするなど、地区自治連合会長のサポートをお願いしたい。また、ワークショップの場が要求・要望の場にならないような工夫が必要かと思う。(中口委員)
  - ・今回ワークショップを開催しない地区にも実施した地区のようすなどを伝えていけるようにしたほうがいい。また今回実施する地区以外でも、ワークショップや説明会を開催するなどフォローをお願いしたい。(伊藤委員)
  - ・資料4の校区別詳細基礎データで、消防局に関するデータが挙がっていないが、提供してもらうよう努めるべきである。(中川副会長)  
⇒消防局にデータの提供を依頼する。(今西部長)
  - ・校区別詳細基礎データをみたところ、東部地域や都祁地域は危機的な状況である。こういったデータを行政も積極的に地域に提供して、地域のやる気を引き出さなければならぬ。(中川副会長)
  - ・地域の防犯の核として交番の役割は非常に大きい。ワークショップの際に交番にも参加してもらおうと住民とはまた違った視点から有益な意見が期待できる。(澤井会長)  
⇒交番に加えて郵便局や運送会社など、戸別訪問を行う事業者等に協力してもらおうと効果的である。(中川副会長)
  - ・前回の審議会で、委員もできる限りワークショップに参加しようという話をさせていただいていたので、ワークショップの開催日程がさらに決まってきたら、事務局から連絡をいただきたい。(室委員)  
⇒随時連絡させていただく。(柴田課長)

### (3) その他

- 市民参画及び協働によるまちづくり条例の改正とその範囲について  
⇒現在、地域自治協議会と市民提案制度に係ることを主に審議しているが、今秋行う市への提言には、地域自治協議会に関する条項のみ条例に追加することにする。市民提案制度については、引き続き審議を行うとともに要領等で制度を構築し、将来的には条例改正も視野に入れる。
- 次回の審議会日程について  
⇒8月ごろの開催を予定。具体的な日時は追って連絡する。

## 6 閉会

以上